

実施による工夫と得られる効果の検証(一覧)

■実施による工夫

- ① 2月度例会のPRのために、委員会回りをします。
- ② 例会ではグループワークで会員の青年会議所活動における苦手意識や得意不得意なところを明確にさせていただきます。
- ③ 決意書に自身で考えた会員拡大活動に関する公約を記載いたします。
- ④ グループワークシートの罫線の色を薄くしました。
- ⑤ コントは全力で行うこととしました。
- ⑥ 会員拡大活動を積極的に行っている会員にとっては、苦手な会員へ拡大活動の意味合いを伝えます。

■得られた効果

- ① 委員会周りを行ったことで、2月度例会を行う理由を明確にし、参加員数の増加につなげることができた。
- ② グループワーク中に良いところばかりではなく、苦手な部分も共有することで、だれがどのような部分で得手不得手があるのか理解することができた。
- ③ 自分自身との公約に基づき責任感が芽生え、目標達成への意欲を活性化させることができた。特にルームへの記載は効果的であると考えた。
- ④ 心理的に書きやすくすることができた。その結果、グループワークでの積極的な意見の交換にもつながった。
- ⑤ 本気で伝えることで、理解が深まりましたと、ともにグループワークとのメリハリをつけたことで、例会に参加している方々の集中力の維持にも寄与できた。
- ⑥ 会員拡大活動を行っている理由が明確になり、さらに会員拡大活動に注力するとともに、拡大活動が得意な方にも学びが深まりました。